

令和2年度 大阪府立芦間高等学校 第1回 学校運営協議会

日時 令和2年7月15日(水) 午前10時～午前11時
場所 本校1階 校長室

構成員 <協議会委員>
笹山 幸子 元府立高等学校長
竹本 剛 P T A会長
高松 真由美 後援会会長
田中 常雄 守口市立第一中学校 校長
宮坂 政宏 週刊教育P R O 編集委員
山崎 裕也 スクールI E (学習塾) エリアマネージャー
<事務局>
塩崎 靖子 教頭
菊地 淳 事務長
亀井 絵里 首席 兼 総務文化部長
角山 愉紀雄 教務主任
武田 真貴子 生徒指導主事
諸木 忠治 進路指導主事
丸山 清美 保健主事
甲斐 徹 情報部長
西脇 慎治 第1学年主任
北野 早苗 第2学年主任
小原 浩昭 第3学年主任
水嶋 育美 共生推進委員長
亀元 政志 校長

出席者 <協議会委員>
笹山 幸子、竹本 剛、高松 真由美、田中 常雄、山崎 裕也
<事務局>
亀元 政志、塩崎 靖子、菊地 淳、亀井 絵里

配付資料 ○令和2年度学校経営計画
○休業中の取り組み
○<特集>休校期間も学びを止めない【5月11日号掲載】(記事)
○令和2年度「学校経営推進費」支援校の事業計画名と事業内容(概要)
○協議会委員 宮坂氏よりいただいたご意見 プリント

内 容

- (1) 校長挨拶、趣旨説明
- (2) 会長選出および会長挨拶
全会一致で 竹本 剛 氏を会長に選出
- (3) 報告
校長より
 - ・近況報告(休業中の取り組み)
 - ・令和2年度学校経営計画について
 - ・教科書選定について
- (4) 協議 [1] 近況報告について
[2] 令和2年度学校経営計画について

[1] 近況報告について（休業中の取り組み）

（委員） とてもよい取り組みができていた。

- ・Edmodo について声を上げる教員グループがあったこと。
- ・個人懇談を実施して生徒個人と向き合ったこと。
- ・経営推進費が獲得できたこと。

教員の士気が高まる。

（委員） 先が見えない中、教員間での話し合いばかりにならず、学びを止めない動きの取り組みはとても良かった。ICT の導入は生徒たちには、利益となり、学習の定着につながる。教員のスキルが大切で、授業力向上につなげていただければ。

（委員） 塾業界の動きでも郵送→オンライン（zoom）を導入。しかし、生徒たちが本当に理解できているのかわかりにくい、また講師の説明も難しい。課題がある。生徒の環境でつながらないことや環境を塾が用意してほしいという要望があったりした。

（事務局） 本校では、郵送の際に、環境の調査と環境が整わない生徒には郵送で対応すると伝えた。スマホ、タブレット、パソコンの環境が整っていなかったのは、当初、2名。この2名には学校のタブレットを貸し出した。その後、1名はスマホが接続できるようになった。1名はタブレット貸し出しを継続中。

今回は、Edmodo 導入については、まずは HR としての「つながり」を最初に地道に行った。その後、教科としての「つながり」へと移行した。

（委員） 休業中の取り組みは、とてもよかった。

Edmodo を使った「つながり」は、先生方の努力の賜物。ほとんどの高校生は、スマホを持っていることで迅速な対応ができた。登校日で面談して一人一人と向き合われたこともよかった。

（委員） Edmodo は、保護者も見ることができる。（自身のスマホの保護者画面を閲覧していただけた。）生徒へどのように提出物などの指示が出ているかを見ることができる。

（委員） Edmodo は、有料ですか。課題のやりとりは？

（事務局） 無料である。たとえば、PDF など課題を添付して送る。生徒は写真をとって提出する。ラインのようなやりとりになる。保護者が閲覧できることで、教員・生徒の発言にもブレーキがかかる。たまたま Edmodo を授業活用している教員が2名いた。この教員を中心としたグループが、休業中のプラットフォームとしての Edmodo の活用を計画した。

（委員） 通常授業が再開したが、Edmodo の併用ができるとよいですね。総合学科にはたくさんの科目があるが準備がよくできましたね。

（事務局） 授業が再開したので、教養科などの非常勤講師の講座などは、Edmodo のクラスを作ったが、オンラインでの利用はしていない。今後、オンラインになったときのためにすべての講座に教員、生徒を登録するところまで準備した。

（委員） 小学校では、学校が始まってとても忙しい。小学校高学年は、眠たそう。（夜型になっている？）そこが気になっている。ICT についてだが、大阪府が言っているオンラインは、どこまでを言っているのだろう。

また、子供たちが SNS にどんどん関わる状況となり、親としてどのように見守ればよいか怖さと共に気になっている。

（事務局） それぞれの学校で双方向を考えてというものであろう。本校では、選択科目が多いので、オンライン実施の際に時間割を作るのは難しいだろう。また、ウェブカメラがない現状である。カメラは国からの補助で購入予定。この4月からは、基本的には、PDF などでの配信、写真での提出で行ってきた。動画を作っている教員もいるが、動画は回線の問題があるだろう。

（委員） 学力面はどうだろう。

（事務局） 授業が始まった。今回の期末考査で、生徒本人と教員が確認することになるだろう。1年生は、高校の勉強に慣れていないという雰囲気。3年生は、焦りを感じている。自習室の利用も多い。

これからの取り組みとして、8月8日に全学年校内模試を実施。申し込み者は多い。1, 2年生は、4月に行うことができなかったスタディーサポートを8月25日

に実施する。

(委員) 1学期の成績を出すことができるのか。また単位認定に時間数が足りるのか？

(事務局) 各教科会において休業中の課題を成績算出に含めるかどうかを決定することとしている。考查がある科目は、1学期末考查をもとに算出する。この後の授業数は、確保できている。

[2] 令和2年度学校経営計画について

(委員) これからの遅刻は気になるところ。

休校になったことで、学校・進路への気持ちが変わった生徒がいるのではないかと

(委員) 働き方改革というが、先生方への負担がかかっている。教員が定時に帰れるのは難しいであろう。大丈夫だろうか。

(委員) 進学について、大学受験が厳しい中、良い結果を出された。進学型の総合学科として贯いていただきたい。修学旅行は、海外に行けずかわいそうですね。

(委員) 教科書採択が高校独自で行うなど、高校は、幅広いなと思った。ICTについては、プレゼンを行ってやっとなんとか整うなど高校は大変ですね。

中学校では、ICTについては、GIGA スクール事業で一人一台のタブレットとなる。この準備はたいへんである。

芦間では、この休業中の取り組みでまとまった職員集団があることがわかった。ぜひ、一丸となってがんばってください。

また、文科省のキャリアパスポートもうまく連携がうまくいけばと考えている。

(委員) 中学校では、ICT が整ってきている。高校とつながるかどうか気になるところ。進路ノートとスケジュール手帳について伺いたい。

(事務局) 進路ノートとスケジュール手帳は同じものである。教員への負担はあるが、ASM サポート（小論文、少人数講習、面接指導）で進路

(委員) 新しいことを始めるときは大変だが、芦間では、チーム学校が実現できているのかなと思う。

(事務局) 今回の休業については、何かしなければという思いが全員に合ってまとまったのだろう。チームで取り組むことで成果が出るという動機付けになってくれたらと思う。

○学校経営計画、令和3年度使用教科書について承認をいただいた。

(5) 校長挨拶

○第2回はオープンスクールを見ていただきたいので11月21日（土）午後を考えている。